

## 不登校生の学習指導について(その1)

2023.3.25(土)

### フロローグ

自ら学校へ行くことを拒否した生徒を「不登校生」と定義します。

巷間、この言葉が批判されるような、これ以外の意味をもたせません。

不登校の原因・理由を問いただしたところで、即効的な解決ができるとは思えませんし、解決するまで無為な時間を過ごすべきではありません。

今、学校へ行けないという事実をまっすぐに見つめ、  
それでは、今、何をすべきかを考えるべきです。

一番避けなければならないのは、何もせずにただだと貴重な青春の日々を浪費することです。

### 学習面でのサポートをします

不登校の問題については、生活・学習・心理・人間関係の面など多面的な側面がありますが、数専ゼミは、その中の学習面でのサポートをするものです。

不登校の陥ると最初に心配することは、多くの場合、学習面での遅れです。

もちろん、自分で学習もするでしょう。

しかし、習っていない内容については、

自分で学習を進めることが困難な局面にぶつかることが多々あります。

だれかに教えて欲しいけれども、

まわりにはおらず、ほっておくことで、学習が進まなくなり、

途中で投げ出してしまうことになります。

これが、常態化して、ますます、学校へいけなくなります。

また、学習したものの、本当に学力として身につけているのかどうかの不安もあります。

テストを受けていないのですから、自分の学力の到達度がわからないのです。

### とにかく、学力は身につけておくこと！

さて、このような状態からどのようにして脱出するか、ということです。

一般的には、フリースクールにかよいます。

出席を認定してくれるところもあるそうです。

しかし、出席の認定はそれはそれとして、

単に、学校を卒業した、ということだけではなく、  
大切なことは、今後、ずっと生きていくうえで、自分の力で未来を切り開いていく力（＝学力）  
をどのようにして身につけていくか、ということです。

よく、「学歴などそれほど大切でない」という評論家もいらっしゃいますけれど…  
そうした評論家のみなさんは高学歴の方々だけです。  
学力は、世の中を生きていく上での矛であり、盾です。  
学力をもっていない人が、  
現代の社会のなかで、どんな困難に出会い、どのような生活をしているかは、  
新聞やテレビを見ているだけ、およそ見当はつきません。

つきなみな言葉ですが、学力は幸せに生きるための唯一無二のツールであると考えます。  
「賢いこと」は生きていく上での力になるのです。  
そして、学歴は、巷間、どのように言われようとも、  
事実上、世の中を渡っていくときの“印籠”になるのです。

それでは、数専ゼミでは、不登校の場合  
日々、どのような方法で学習指導をするのかについては  
次回に、詳しくお話ししましょう。

## **不登校のときの学習の場を提供しています**

### **数専ゼミ・山形東原教室**

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)